

目次

(62) 製品関連記事

▽「歩行器アレンジ 電動カート／RT ワークス」

(63) サービス関連記事

▽『「買い物弱者」の送迎車／コープこうべ』

(64) その他、各種関連記事

▽「高齢者にも IT の風を グッドツリー」

(65) 新刊紹介

▽『ねころんで読める新しいリハビリ』

内部障害リハビリテーションの驚くべき効果』

▽『視能訓練士の日』

▽『身近な人が障害をもったときの手続きのすべて』

(62) 製品関連記事

▼「歩行器アレンジ 電動カート／RT ワークス」

高齢者向けの電動歩行器などを手掛ける RT ワークス（大阪市）は買い物やレジャーなどで荷物を楽に運べる電動キャリーカートの商品化し、9月に発売する。ハンドルにセンサーを内蔵し、軽く握って押すだけで進む。幅広い用途に使ってもらうほか、開発のベースとなった電動歩行器の認知度を高め、使用に抵抗を感じる高齢者に気軽に使ってもらえるようにする狙い。

9月に「ラクサカ」の商品名で電動キャリーカートを発売する。主なター

ゲットは高齢者。加えて若いファミリー層などの取り込みも目指す。

ハンドルを握って押し出す操作をセンサーで感知すると、自動でモーターのスイッチが入り、前進する。荷物を乗せていても力をかけて押す必要はない。ハンドルを引き留めようとする動きを感知すると、停止する。

10 キログラムまで荷物を載せられ、スーパーの買い物かごをそのままはめ込んで使う。折り畳んで車にも積み込める。広いショッピングモール内の移動のほか、キャンプや釣りなどで重いクーラーボックスを運ぶなどの用途を想定。停止させた状態では椅子としても使える。

(日経MJ 8月10日7面より抜粋)

(63) サービス関連記事

▼ 『買い物弱者』の送迎車／コープこうべ」

生活協同組合コープこうべ（神戸市）は近隣にスーパーなどがない「買い物弱者」を支援するため、企業と送迎車両の共同運行に乗り出した。取引先の食品会社に経費の一部を負担してもらい代わりに、広告を車体に掲載する。送迎サービスは採算が取れず継続しにくいのが課題。連携先を他の企業や地域団体にも広げ、2020年までに10台に増やす。

キング醸造（兵庫県稲美町）と送迎車「買い物もん行こカー」の共同運行で合意し、ミニバン（定員8人）で稲美店（同）への無料送迎を6月に始めた。周囲に買い物弱者が多く、同店にみりんや酒を納品する同社に協力を要請。ミニバンのリース代を折半してもらい、車体に同社の広告をラッピングするほか、サンプル品を配るなど商品をPRする。送迎エリアは店舗から車で約30分圏内。利用希望者にあらかじめ曜日や時間を事前登録してもらい、原則週1回、自宅まで送迎する。高齢者を中心に週平均80人程度が利用する。

コープこうべによると送迎車の企業との共同運は小売店では珍しく、生協では初めてだという。

(日経MJ 8月10日7面より抜粋)

(64) その他、各種関連記事

▼「高齢者にも IT の風を グッドツリー」

IT（情報技術）企業のグッドツリー（仙台市）は介護報酬請求などの業務を効率化する介護ソフトの開発を手掛ける。ソフトバンクのヒト型ロボット「ペッパー」を活用した介護アプリも考案するなど、IT が遅れているとされる介護の現場に新たな風を吹き込んでいる。

同社は 2011 年、介護ソフト「ケア樹」を開発した。既存のソフトよりも使いやすい画面設計にし、誰でも簡単に利用することができるようにした。クラウドを活用したことで開発費や運用費を抑え、月額の基本利用料の無料化を実現した。

介護現場では介護報酬の請求処理や介護サービスの実施記録、スタッフの管理など事務作ケア樹に蓄積された記録とペッパーを結びつければ、より質の高いサービスを提供することもできる。たとえば、ケア樹に記録された高齢者のトイレの回数をペッパーが把握。ペッパーは職員に対して「トイレに行く回数が少ない人がいるよ」と知らせ、体調変化の早期発見につなげることができる。

（日経産業新聞 2018 年 8 月 7 日 13 面より抜粋）

(65) 新刊紹介

▼『ねころんで読める新しいリハビリ』

内部障害リハビリテーションの驚くべき効果』

超高齢社会の今、患者を元気にする秘訣は、一般病棟・外来でできるリハビリにあり！患者の生活機能や運動機能を改善でき、生命予後を延長させることもできる内部障害リハビリテーションを解説。『透析ケア』連載を加筆修正。

著：上月正博（こうずき・まさひろ）

発行：メディカ出版

本体価格：3400 円（税別）

ISBN：978-4-8404-6540-3

▼『視能訓練士の日』

医療・福祉の仕事で活躍する人の中から視能訓練士を取り上げ、その一日を写真で紹介。視能訓練士になるためのルートや、学校、学費、働く場所、収入などを解説する。インタビューも掲載。

編著：WILL こども知育研究所

発行：保育社

本体価格：2800 円（税別）

ISBN：978-4-586-08593-4

▼『身近な人が障害をもったときの手続きのすべて』

生活環境を整えるための医療や介護のこと、経済的なこと、仕事や社会交流のこと…。身近な人が障害をもった時に生じるさまざまな課題に対し、相談機関や活用できる諸制度の手続きなどを具体的にわかりやすく解説する。

監修：鈴木四季（すずき・しき）

発行：自由国民社

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-426-12453-3

（編集後記）

本日（8月10日）発売の雑誌「プレジデント」シリーズ「中小企業の星」では、「続々新商品を生み出す『寿司職人』的開発手法」というタイトルで、水泳帽の7割のシェアをほこるフットマーク社を、取り上げています。

同社は、鈴木俊吾さんにご紹介いただいた会社で、後藤芳一さんコーディネートの下、構成を担当させていただきました。

「介護」という言葉を産み出した同社の凄みを、多くの方に知っていただけたらと思います。（星川安之）

<プレジデント社>

<https://www.president.co.jp/pre/new/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>